

宝塚市の緑地公園で得られた蛾類の記録 I

宇野宏樹¹⁾

1. はじめに

宝塚市の蛾相に関する定点調査として挙げられるのは、1981年から1994年にかけて新家 勝氏によって報告された「宝塚大橋の照明燈で採集した蛾（その1～3・続報その1～10）」が最たるものだろう。1992年から1994年にかけては宝塚市教育委員会によって「宝塚の昆虫 I～VII」が出版され、宝塚市の昆虫相の解明された精度は飛躍的に向上した。しかしながら、この25年間、阪神淡路大震災後においては、蛾類に関する市内での調査に関してはあまり報告されたという話を聞かない。筆者は宝塚市南西部において、主に2014年～2019年にかけて蛾類の調査を行ったので、その結果について報告したい。

2. 調査地の情報および本記録での表記について

兵庫県宝塚市の南西部には、ゆずり葉台緑地公園という公園が存在する。この公園の街灯には夜間多数の昆虫が飛来するので、筆者はよく昆虫の採集を行っていた。本公園は六甲山地域の東端に位置し、南に甲山を、北に譲葉山をのぞんでいる。近辺の環境は、コナラーアベマキ群集が中心に位置し、その周りをアカマツ—モチツツジ群集が取り囲んでいるというものであり、これは自然林に近い二次林が最も採集地に近く、二次林がその周りを覆っている環境であるとも分析されている（宝塚市、2012）。公園の南部にはゴルフ場が隣接していることも特徴の一つとして挙げられる。公園内には乾燥気味の草地の広場や、草地に木がまばらに生えている環境があり、逆瀬川が園内を流れている。全体の地形は北西へ向かって上がるなだらかな傾斜地となっており、その標高は170m～200mほどである。紹介する蛾類は平地の普通種が中心であるが、2010年代の宝塚市の蛾相を記録した資料となることを期待し、ここにリストを作成した。本報告では、カギバガ上科・シャクガ上科・カレハガ上科・カイコガ上科について報告する。

採集地はすべてゆずり葉台緑地公園の内部及び周辺（宝塚市蔵人と宝塚市逆瀬台一丁目にまたがったエリア）である。標本はすべて筆者が採集・管理している。ま

た、蛾類の掲載順序は日本産蛾類標準図鑑 I に従っており、宝塚市ですでに記録がある種には○印を、兵庫県ですでに記録があるが宝塚市では初記録と思われる種には☆印および簡易な説明を、兵庫県で初記録と思われる種には★印および説明を、それぞれ付記している。もっとも、すべての文献を参照できたとは思えないので、見落としも多いかもしれない。この点についてはご指摘いただけると幸いである。

各種解説

アゲハモドキガ科

キンモンガ *Psychostrophia melanargia* ○

1ex. 1. VIII. 2015.

フタオガ科

Dysaethria 属の一種

1ex. 5. VI. 2016.

筆者は交尾器による同定技術を有さないため、同定は保留した。

クロオビシロフタオ *Oroplema plagifera* ○

1ex. 3. VI. 2016.

カギバガ科

ヤマトカギバ *Nordstromia japonica* ○

1ex. 13. V. 2016.

Tridrepana 属の一種

1ex. 21. XI. 2015; 1ex. 5. VI. 2016.

ウコンカギバ○またはヒメウコンカギバだが、筆者は交尾器による同定技術を有さないため、種の断定は保留した。

ギンモンカギバ *Callidrepana patrana* ○

1ex. 28. V. 2016.

¹⁾ Hiroki UNO 京都大学大学院農学研究科応用生物科学専攻 修士課程2年

マダラカギバ *Callicilix abraxata* ☆

1ex, 24. IX. 2014 ; 1ex, 16. IX. 2015.

宝塚市では初記録かもしれない。県下では、西播北部から南但にかけての山地に記録が多く、能勢妙見山からも得られている(高島, 1999)。六甲山系に生息することは予想されていた(高島, 1999)が、今回生息を確認できた。

ナカモンカギバ *Cilix filipjevi* ○

1ex, 14. IV. 2016 ; 1ex, 18. IV. 2016 ; 1ex, 5. VI. 2016.

スカシカギバ *Macrauzata maxima* ○

1ex, 2. IX. 2014 ; 1ex, 17. VI. 2015.

アシベニカギバ *Oreta pulchripes* ○

1ex, 26. IX. 2014 ; 1ex, 18. VII. 2015 ; 1ex, 10. X. 2015.

アカウラカギバ *Hypsomadius insignis* ○

1ex, 2. IX. 2014.

モントガリバ *Thyatira batis* ○

1ex, 9. X. 2014 ; 1ex, 16. V. 2015.

オオアヤトガリバ *Habrosyne fraterna* ○

1ex, 6. X. 2015 ; 1ex, 16. V. 2015 ; 1ex, 15. X. 2015 ; 1ex, 17. X. 2015 ; 1ex, 24. IV. 2016.

ナカジロトガリバ *Togaria suzukiana* ○

2exs, 9. XI. 2014 ; 1ex, 18. X. 2014.

サカハチトガリバ *Kurama mirabilis* ○

1ex, 24. III. 2016 ; 2exs, 1. IV. 2016.

ムラサキトガリバ *Epipsestis ornate* ○

2exs, 24. X. 2014 ; 2exs, 25. X. 2014.

ホシボシトガリバ *Demopsestis punctigera* ○

2exs, 20. III. 2015 ; 1ex, 16. III. 2016 ; 1ex, 24. IV. 2016.

シャクガ科

スギタニシロエダシャク *Abraxas flavisinuata* ○

1ex, 12. IX. 2015.

Abraxas 属の一種

1ex, 21. IX. 2014.

筆者は交尾器を用いた同定技術を有さないで、種の断定は保留した。

ヤマトエダシャク *Peratostega deletaria* ○

1ex, 6. X. 2015.

ウチムラサキヒメエダシャク *Ninodes splendens* ☆

1ex, 28. V. 2016.

宝塚市での記録は見つけれなかった。県下では、氷上郡地方などで記録がある(山本, 1997)。

ナミスジシロエダシャク *Orthocabera tinagmaria* ☆

1ex, 2. VI. 2016.

宝塚市での記録は見つけれなかった。県下では、氷上郡地方妙高山や神戸市北区山田町で記録がある(山本, 1997 ; 松本, 1987)。

クロミスジシロエダシャク *Myrteta angelica* ○

1ex, 27. IX. 2014 ; 1ex, 9. X. 2014.

フタホシシロエダシャク *Lomographa bimaculata* ○

1ex, 6. IV. 2016 ; 1ex, 18. IV. 2016.

バラシロエダシャク *Lomographa temerata* ○

1ex, 11. VIII. 2015.

コスジシロエダシャク *Cabera purus* ○

1ex, 8. VII. 2016.

フタスジエダシャク *Rhynchobapta cervinaria* ○

1ex, 25. VI. 2016.

マエキオエダシャク *Plesiomorpha flaviceps* ○

1ex, 2. VI. 2016 ; 1ex, 9. VII. 2016.

ニッコウキエダシャク *Pseudepione magnaria* ○

1ex, 15. X. 2015.

Synegia 属の一種

1ex, 25. X. 2014 ; 1ex, 14. XI. 2015.

筆者は交尾器を用いた同定技術を有さないで、種の断定は保留した。

Astygisa 属の一種

1ex, 26. VI. 2016.

ヨスジアカエダシャクまたはオオヨスジアカエダシャクと思われるが、筆者は交尾器による同定技術を有さないで種の断定は保留した。

ツマキエダシャク *Platyserota incertaria* ○

1ex, 3. X. 2015 ; 1ex, 14. IV. 2016.

フタテンオエダシャク *Chiasmia defixaria* ○
1ex, 8. VII. 2016.

トビカギバエダシャク *Luxiaria amasa* ○
1ex, 8. VII. 2016.

スカシエダシャク *Krananda semihyalina* ☆
1ex, 29. VII. 2015.

宝塚市での記録は見つけられなかった. 県下では氷上郡地方や波賀町での記録がある (山本, 1997・高島, 1995).

ツマジロエダシャク *Krananda latimarginaria* ○
1ex, 27. IX. 2014 ; 1ex, 12. VII. 2015.

ゴマダラシロエダシャク *Antipercnia albinigrata* ○
1ex, 30. VII. 2015.

オオゴマダラエダシャク *Parapercnia giraffata* ○
1ex, 28. V. 2016.

クロフオオシロエダシャク *Pogonopygia nigralbata* ○
1ex, 9. VII. 2015.

ウスゴマダラエダシャク *Metabraxas paucimaculata* ○
1 ♀, 9. XI. 2015 ; 2 ♀, 11. XI. 2015.

キシタエダシャク *Arichanna melanaria* ○
1ex, 6. VI. 2015.

ナカウスエダシャク *Alcis angulifera* ○
1ex, 8. V. 2015 ; 1ex, 24. X. 2015.

ネグロエダシャク *Ramobia basifuscaria* ★
1ex(図1), 24. X. 2015.

似た種にナカジロネグロエダシャクがあるが, 中横線の下部が外側に角張ることから, 本種と同定した. 北海道・本州・四国・九州に分布する日本固有種であり, 食樹はホオノキである. 意外にも少ない種なのか, 兵庫県での記録は見つけられなかった. 筆者も見たのは上記の一度きりである.

シロテンエダシャク *Cleora leucophaea* ☆
2exs, 12. III. 2015 ; 1ex, 29. II. 2016.

早春に多く見られる普通種であるが, 宝塚市での記録は見つけられなかった.



図1 ネグロエダシャク

フトスジエダシャク *Cleora repulsaria* ○
1ex, 8. IX. 2015.

ヨモギエダシャク *Ascotis selenaria* ○
1ex, 11. VIII. 2015 ; 1ex, 16. IX. 2015.

オオトビスジエダシャク *Ectropis excellens* ○
1ex, 18. IV. 2016.

オオバナミガタエダシャク *Hypomecis lunifera* ○
1 ♂, 3. VIII. 2015 ; 1 ♂, 11. VIII. 2015 ; 1 ♀, 7. VI. 2016.

ヒロバウスアオエダシャク *Paradarisa chloauges* ○
1ex, 3. X. 2015 ; 1ex, 9. X. 2015 ; 1ex, 2. VI. 2016.

ナミガタエダシャク *Heterarmia charon* ○
1ex, 28. V. 2016.

ハンノトビスジエダシャク *Aethalura ignobilis* ○
1ex, 9. VII. 2016.

コヨツメダシャク *Ophthalmitis irrorataria* ○
1ex, 8. VII. 2016.

チャノウモンエダシャク *Jankowskia fuscaria* ○
1 ♂, 16. IX. 2014 ; 1 ♀, 22. VI. 2015 ; 1 ♀, 2. VII. 2015.

リンゴツノエダシャク *Phthonosema tendinosarium* ○
1 ♀, 10. VII. 2015 ; 1 ♂, 11. VIII. 2015 ; 1 ♀, 30. IX. 2015.

ヒロオビエダシャク *Duliophyle agitata* ○
1 ♂, 21. IX. 2014.

オオトビエダシャク *Duliophyle majuscularia* ☆

1ex, 29. VII. 2015.

早朝, 街灯の下で新鮮な死骸を拾ったものである。宝塚市での記録は見つけれなかった。県下では, 波賀町や氷上郡妙高山で記録がある (高島, 1995・山本, 1997)。

チャバネフユエダシャク *Erannis golda* ○

1 ♂, 28. XI. 2014; 1 ♂, 29. XI. 2014; 1 ♀, 30. XI. 2014.

チャオビフユエダシャク *Phigaliohybernia fulvinfula* ☆

1 ♂, 5. III. 2016.

宝塚市での記録は見つけれなかった。六甲山麓の雑木林には多いとされており, 神戸市山田町で記録がある (松本, 1985)。

オカモトトゲエダシャク *Apochima juglansiararia* ○

1 ♂, 12. III. 2015; 1 ♂, 20. III. 2015; 4 ♂, 29. II. 2016; 1 ♂ 2 ♀, 5. III. 2016

チャエダシャク *Megabiston plumosaria* ○

2exs, 8. XI. 2014; 1ex, 9. XI. 2014; 1ex, 28. XI. 2014.

チャオビトビモンエダシャク *Biston strataria* ★

1 ♂, 20. III. 2015; 1 ♂, 5. III, 2016; 2 ♂ (図2), 8. III, 2016; 1 ♂, 29. III. 2016.

兵庫県で公式に記録されるのは初めてかもしれない。本種の分布は北海道, 本州 (中部地方以北) とされている (四方, 2016) が, 2014 年頃から関西での観察例が増えているようで, Twitter では兵庫県南部などでの目撃情報が散見される。筆者は Twitter をやめてしまい, 採集された方々との連絡はとれないのだが, 本報告を皮切りに関西での本種の生息状況が明らかにされることを願いたい。2015 年 3 月 20 日採集の個体と, 2016 年 3 月 8 日採集のうちの 1 個体が新鮮であったことから, 採集地付近で発生している可能性が高いと思われる。筆者は西宮市でも新鮮な本種を採集しているので, 合わせて報告しておきたい。

1 ♂, 兵庫県西宮市塩瀬町名塩武田尾, 18.III.2016

トビモンオオエダシャク *Biston robustus* ○

1 ♂, 12. III. 2015; 2 ♂, 20. III. 2015; 1 ♂, 29. III. 2016.

キオビゴマダラエダシャク *Biston panterinaria* ○

2 ♂, 9. VI. 2015; 1 ♀, 1. VII. 2017.

ウスイロオオエダシャク *Amraica superans* ○

1 ♂, 13. V. 2016.



図2 チャオビトビモンエダシャク

ニッコウエダシャク *Lassaba nikkonis* ○

1ex, 20. III. 2015; 1ex, 24. III. 2016; 1ex, 28. III. 2016.

カバエダシャク *Colotois pennaria* ○

4 ♂ 1 ♀, 16. XI. 2014; 4 ♀, 28. XI. 2014.

ハスオビエダシャク *Descoreba simplex* ○

1ex, 16. III. 2016.

ニトベエダシャク *Wilemania nitobei* ○

1 ♂, 9. XI. 2014; 1 ♂, 29. XI. 2014; 1 ♀, 14. XI. 2015; 1 ♀, 21. XI. 2015.

アトジロエダシャク *Pachyligia dolosa* ○

1ex, 20. III. 2015; 2exs, 5. III. 2016.

ヒロバトガリエダシャク *Planociampa antipala* ○

2exs, 8. III. 2015; 1ex, 5. III. 2016.

ホソバトガリエダシャク *Planociampa modesta* ☆

3exs, 5. III. 2016.

早春に多く見られる普通種であるが, 宝塚市での記録は公式にあまり報告されていないのか, 見つけれなかった。

ウスクモエダシャク *Menophra senilis* ○

1ex, 31. VIII. 2014; 1ex, 9. VII. 2015; 1ex, 3. IV. 2016; 1ex, 24. IV. 2016.

クロモンキリバエダシャク *Psyra bluethgeni* ○

1ex, 29. II. 2016; 1ex, 5. III. 2016



図3 キリバエダシャク



図4 クロモンウスチャヒメシャク

マエキトビエダシャク *Nothomiza formosa* ○
1ex, 7. VI. 2016.

キリバエダシャク *Ennomos nephotropa* ☆
1ex(図3), 6. X. 2015.

見落としがあるかもしれないが、宝塚市での記録は見つけられなかった。山地の普通種とされている(岸田, 2011)。県下での公式の記録は見つけられなかったが、「みんなで作る日本産蛾類図鑑 V2」の記録確認済都道府県には兵庫が含まれている。

ヨスジキエダシャク *Cotta incongruaria* ☆
1ex, 25. VI. 2016.

宝塚市での記録は見つけられなかった。県下では氷上郡地方での記録が報告されている(山本, 1997)ほか、「みんなで作る日本産蛾類図鑑 V2」に兵庫県淡路市佐野で撮影された個体が掲載されている(2019年8月閲覧)。

エグリツマエダシャク *Odontopera arida* ○
4exs, 24. X. 2014 ; 1ex, 25. X. 2014 ; 1ex, 8. XI. 2014 ; 1ex, 29. III. 2016.

ヒメノコメエダシャク *Acrodonis kotshubeji* ☆
2 ♀, 24. X. 2014 ; 2 ♂, 10. X. 2015 ; 1 ♀, 15. X. 2015.

晩秋の普通種であるが、宝塚市の公式の記録は見つけられなかった。なおインターネット上のブログなどでは、宝塚で撮影された写真がいくつか見られる。

キエダシャク *Auaxa sulphurea* ○
1ex, 21. V. 2016.

エグリエダシャク *Fascellina chromataria* ○
1ex, 26. VIII. 2017.

キバラエダシャク *Garaeus specularis* ○
1ex, 12. VII. 2015 ; 1ex, 2. VI. 2016 ; 1ex, 25. VI. 2016.

コナフキエダシャク *Plagodis pulveraria* ○
1ex, 8. VII. 2016 ; 1ex, 30. VI. 2016.

ウラベニエダシャク *Heterolocha aristonaria* ○
1ex, 25. VI. 2016.

Corymica 属の一種

1ex, 10. IX. 2014 ; 1ex, 21. IX. 2014 ; 1ex, 27. IX. 2014.

ウコンエダシャクまたはヒメウコンエダシャクであるが、筆者には交尾器による同定技術がないため、種の断定は保留した。

コガタツバメエダシャク *Ourapteryx obtusicauda* ○
1ex, 7. VI. 2016.

オオシロアヤシャク *Pingasa alba* ○
1ex, 13. IX. 2014 ; 5. IV. 2016.

オオアヤシャク *Pachista superans* ○
1ex, 3. X. 2015.

ノコバアオシャク *Timandromorpha enervata* ○
1ex, 13. V. 2016.

ヒメカギバアオシャク *Mixochlora vittata* ○
1ex, 18. VII. 2015.

コシロオビアオシャク *Geometra glaucaria* ○
1ex, 28. V. 2016.

ギンスジアオシヤク *Comibaena argentataria* ☆

1ex, 27. IX. 2014.

宝塚市での記録は見つけられなかった。県下では氷上郡地方および豊岡市で記録がある(山本, 1997; 復建調査設計株式会社, 2011)。

Timandra 属の一種

1ex, 30. VII. 2015.

ベニスジヒメシヤクの一種だが、筆者は交尾器を用いた同定技術を有さないため、種の断定は保留した。

クロモンウスチャヒメシヤク *Perixera absconditaria* ☆

1ex(撮影のみ・図4). 17.VI.2019.

似た仲間にシロモンウスチャヒメシヤクがあるが、外横線が点線状になっていることからクロモンウスチャヒメシヤクと同定した。県内では南淡町・芦屋市で記録されている。また、インターネット上には明石市での目撃例を見いだせる。

フタツメオオシロヒメシヤク *Problepsis albidior* ☆

1ex, 30. VII. 2015 ; 1ex, 5.III.2016.

特に珍しい印象はないが、宝塚市での記録は見つけられなかった。三重県から大阪府のラインが分布の北東限だという(岸田, 2011)。

クロスジオオシロヒメシヤク *Problepsis diazoma* ○

1ex, 15. IX. 2014 ; 1ex, 21. IX. 2014.

ヒトツメオオシロヒメシヤク *Problepsis superans* ○

1ex, 2. VII. 2014.

ウンモンオオシロヒメシヤク *Somatina indicataria* ○

2exs, 21. IX. 2014.

シタコバネナミシヤク *Trichopteryx hemana* ☆

1ex, 18. IV. 2016.

宝塚市での記録は見つけられなかった。県下では氷上郡地方で記録がある(山本, 1997)。

アカモンナミシヤク *Trichopterigia costipunctaria* ○

1ex, 3. IV. 2016.

ハコベナミシヤク *Euphyia cineraria* ☆

1ex, 8. VII. 2016.

宝塚市での記録は見つけられなかった。県下では氷上郡地方や川西市黒川地区および豊岡市で記録がある(山本, 1997・高島, 1998・復建調査設計株式会社, 2011)。

フタモンクロナミシヤク *Catarhoe obscura* ○

1ex, 2. IX. 2014 ; 1ex, 18. VII. 2015 ; 1ex, 28. IV. 2016 ; 17. VI. 2016.

マルモンシロナミシヤク *Gandaritis evanescens* ☆

1ex. 1. VII.2017.

宝塚市での公式の記録は見つけられなかった。県下では氷上郡地方で記録がある(山本, 1997)。

ツマキシロナミシヤク *Gandaritis whitelyi* ○

1ex, 28. V. 2016.

ナミガタシロナミシヤク *Callabraxas compositata* ○

1ex, 17. VI. 2015.

ウストビモンナミシヤク *Eulithis ledereri* ○

1ex, 9. VI. 2015.

ヨコジマナミシヤク *Eulithis convergenata* ☆

1ex. 18. VI. 2017.

宝塚市での公式の記録は見つけられなかった。県下では氷上郡地方や相生市、氷ノ山で記録がある(山本, 1997・高島, 1996)。

セスジナミシヤク *Evecliptopera illitata* ○

1ex, 7.VI. 2016.

オオハガタナミシヤク *Ecliptopera umbrosaria* ○

1ex, 25. VI. 2016.

シロシタトビイロナミシヤク *Heterothera postalbida* ○

2exs, 25. X. 2014.

ナカオビアキナミシヤク *Nothoporia mediolineata* ○

3exs, 28. XI. 2014.

なお、目撃したが採集・撮影していない種にヒョウモンエダシヤク *Arichanna gaschkevitchii* ○・ウスキツバメエダシヤク *Ourapteryx nivea* ○が挙げられる。

カレハガ科

ホシカレハ *Gastropacha populifolia* ○

1 ♂, 27. IX. 2014.

ウスズミカレハ *Poecilocampa tamanukii* ○

1ex, 21. XII. 2015.

オビカレハ *Malacosoma neustrium* ○

1 ♂, 9. VI. 2015.

リンゴカレハ *Odonestis pruni* ○

1ex, 31. VIII. 2014; 1 ♀, 15. IX. 2014; 1 ♂, 9. VII. 2015.

マツカレハ *Dendrolimus spectabilis* ○

1ex, 12. IX. 2015.

クヌギカレハ *Kunugia undans* ○

2 ♀, 24. X. 2014; 1 ♀, 9. XI. 2015.

タケカレハ *Euthrix albomaculata* ○

1ex, 30. IX. 2014.

オビガ科

オビガ *Apha aequalis* ○

2exs, 22. VI. 2015.

イボタガ科

イボタガ *Brahmaea japonica* ○

1ex, 30. III. 2016; 3exs, 1.IV. 2016. 1ex, 3. IV. 2016.

ヤママユガ科

シンジュサン *Samia cynthia* ○

1 ♀ (繭を採集), 4. X. 2014; 1 ♂, 9. VI. 2015

ヤママユ *Antheraea yamamai* ○

1 ♂, 18. IX. 2010; 1 ♂, 11. VIII. 2015; 1 ♀, 11. VIII. 2015

ヒメヤママユ *Saturnia jonasii* ○

2 ♂, 9. X. 2014; 8 ♂, 24. X. 2014; 1 ♂, 25. X. 2014; 1 ♀, 3 ♂, 24. X. 2015

クスサン *Saturnia japonica* ○

1 ♀, 15. IX. 2014; 1ex, 24. IX. 2014.; 1ex, 4. X. 2014; 1 ♂, 16. IX. 2015.

ウスタビガ *Rhodinia fugax* ○

1 ♀, 7. XI. 2015; 5 ♂, 9. XI. 2015; 1 ♂, 11. XI. 2015; 1 ♀, 2 ♂, 14. XI. 2015.

オオミズアオ *Actias aliena* ○

1 ♂, 29. VII. 2015; 1 ♂, 18. IV. 2016; 1 ♂, 24. IV. 2016.

オナガミズアオ *Actias gnoma* ○

1 ♂, 1. VII. 2015; 1 ♂, 25. X. 2015; 1 ♀, 6. VIII. 2015.

エゾヨツメ *Agria japonica* ○

1 ♂, 1. IV. 2018.

スズメガ科

エビガラスズメ *Agrius convolvuli* ○

1ex, 30. IX. 2014; 1ex, 5. IX. 2010; 1ex, 16. IX. 2015.

シモフリスズメ *Psilogamma incretum* ○

1ex, 5. IX. 2010.

コエビガラスズメ *Sphinx constricta* ○

1ex, 8. V. 2015; 1ex, 26. V. 2015; 1ex, 30. VII. 2015; 1ex, 11. VIII. 2015.

クロスズメ *Sphinx caliginea* ○

1ex, 8. IX. 2019.

サザナミスズメ *Dolbina tancrei* ○

1ex, 11. VIII. 2015.

ホソバスズメ *Ambulyx ochracea* ○

1ex, 12. VII. 2015; 1ex, 11. VIII. 2015.

トビイロスズメ *Clanis bilineata* ○

1ex, 15. VII. 2015.

モモスズメ *Marumba gaschkewitschii* ○

1ex, 30. VII. 2015.

クチバスズメ *Marumba sperchius* ○

1ex, 25. VI. 2016.

オオシモフリスズメ *Langia zenzeroides* ○

4 ♂, 29. III. 2016; 3 ♂, 30. III. 2016; 2 ♀, 2 ♂, 3. IV. 2016; 1 ♀, 5. IV. 2016

ウンモンズズメ *Callambulyx tatarinovii* ○

1ex, 16. V. 2015.

クルマスズメ *Ampelophaga rubiginosa* ○

1ex, 16. VIII. 2015.

クロホウジャク *Macroglossum saga* ○

1ex, 22. VI. 2015.

キイロスズメ *Theretra nessus* ○

1ex, 31. VIII. 2014.

セスジスズメ *Theretra oldenlandiae* ○

1ex, 29. VI. 2014; 1ex, 22. VI. 2015; 1ex, 31. VII. 2015.

コスズメ *Theretra japonica* ○
1ex, 31. VIII. 2014.

なお目撃はしたが採集・撮影していない種に、ブドウスズメ *Acosmeryx castanea* ○・*Rhagastis* 属の一種が挙げられる。

末筆ながら、文章を見てくださった田中雅之氏（尼崎市）に厚くお礼申し上げます。

宝塚市. 宝塚市生態系レッドデータブック 2012. http://www.city.takarazuka.hyogo.jp/_res/projects/default_project/_page_/001/025/676/seitaikai_rdb.pdf

引用文献

- 岸田泰則（編）,2011. 日本産蛾類標準図鑑 I. 352pp. 学研教育出版, 東京.
- 犬飼拓展, 2014. 年間蛾類採集記録. SPINDA No.29. 京都大学蝶類研究会.
- 東 正雄（編）, 1992. 宝塚の昆虫 III 蛾類 (I). 宝塚市教育委員会.
- 東 正雄（編）, 1994. 宝塚の昆虫 VII ハチ・アリ・ノミ・（補遺）. 宝塚市教育委員会.
- 四方圭一郎, 2016. 冬ボンビー秋から春に発生する大型蛾類一. やどりが, 248:2-17
- 松本健嗣, 1985. 神戸市山田町の蛾（続報3）. きべりはむし, 13 (1) :18-19
- 高島 昭, 1995. 波賀町引原ダム周辺における蛾相第2報. きべりはむし .23 (2) :10-23
- 山本義丸, 1997. 兵庫県氷上郡地方の蛾類 (2). きべりはむし . 25 (1) : 11-22
- 高島 昭, 1998. 黒川の蛾（兵庫県産蛾類分布資料・8）. きべりはむし . 26 (1) : 23-38
- 高島 昭, 1999. 兵庫県のカレハガ上科とカイコガ上科（兵庫県産蛾類分布資料・12）, きべりはむし .27 (1) :28-39
- 高島 昭, 1999. 兵庫県のカギバガ科・オオカギバガ科・トガリバガ科（兵庫県産蛾類分布資料・14）, きべりはむし . 27 (2) :61-75
- 西 隆広, 2002. 芦屋市で記録した注目すべき蛾. きべりはむし . 30 (2) : 47-48
- 久保弘幸, 2016. みんなでつなぐ初蝶リレー 2015. きべりはむし . 38 (2) : 17-20
- 坪田 瑛, 2017. ナカモンカギバを兵庫県福崎町および市川町で採集. きべりはむし 40(1):35-36
- 復建調査設計株式会社, 2011. 平成 22 年度コウノトリの野生復帰に関する支援業務（円山川下流域コウノトリ生息環境総合評価調査）報告書. http://toyooka-kounotori.com/wp/wp-content/uploads/2017/12/kan_h22_1.pdf